



7月号 第33号

発行日：2019年6月21日

発行：虹技株式会社

環境安全管理部 環境管理G

姫路市大津区勘兵衛町4丁目1

TEL 079-236-3224

あさ晩が

ちょっと、涼しい日が続いてますね。日中は昔の真夏並みの暑さですが、朝晩が涼しいだけでもずいぶん身体がラクです。5月の猛暑はどうなる事かと身構えましたが、やれやれ助かります。

タイトルバックのツーショットは、ノアザミとモンシロチョウ。どこにでもいますが、コンビでは珍しいので採用しました。アザミの語源は、沖縄の八重山方言の「トゲ」を意味する「アザ」から来ている説と、古語では「あざむ」が「驚きあきれる」という意味で、とげが多さに驚きあきれたからという説があります。いずれにせよ、トゲだらけで触ると痛いような感じがイメージできる名前ですね。ナイスネーミング！モンシロチョウは小学校では昆虫観察の定番なので特別トピックはないですが、春のモンシロチョウって夏より白いんだって！

知ってました？



上の写真は、キキョウにそっくりのキキョウソウの花。草丈は30cmくらいですがキキョウより花はずっと小さくって直径15mmほど。よ〜く観察しなきゃ見逃してしまうほど。もともとはアメリカ原産だそうです。今では関東以南に分布し、道端や公園の空き地などでたくましく生きています。葉っ

ぱも花も階段のように段々についているので「ダンダンキキョウ」とも言うそうです。



この何ともみっともない顔の奴らは、ご存知ツバメのヒナ達です。営業地・ゆめさきの森公園での子育て中の巣の様子です。これも春の風物詩ですよ。この写真は5月末のものなので、今はもう少しキリっとした顔つきになっているはず。



最後は「オカタツナミソウ」。先月号で紹介したマムシグサのようにこれも大波が、海岸で打ち崩れる姿のように見えるでしょ。そう、漢字で書くと丘立浪草(岡立波草)。波立ってる感じがしますよね。でも、これがまた小っちゃいの。花の長さが2cmくらいなので、よ〜く気を付けないと見逃がしちゃう。ビッグウェーブなのにね。

虹技株式会社の環境年間報告

2018年度の虹技における環境関係データを取りまとめましたので、報告いたします。虹技で働く皆さんには、ぜひとも知っておいていただきたい数字です。どうすれば環境に与える影響を小さくできるのか、虹技の現状をしっかりと認識したうえで全社員が知恵を絞らねばなりません。

●捨てた産業廃棄物

5.0千トン（前年度5.2千トン）

一番が、この廃棄物問題です。皆さんの職場でよく目につく廃棄物バケツでの集約廃棄物は、全体量から言えばそんなに多くはありません。大半は、廃棄物区分で言う鉱さい（砂ダスト、廃砂、ノロ、耐火材くず）なのです。もちろん、バケツでの集約はきっちりと分別していただくのは当然のこと、そしてその発生を抑える努力も不可欠。しかしながら、この鉱さいについては鑄物業という業種からどうしても発生をゼロにするのは不可能です。それでも、何とかして、その発生量を抑えるための知恵は必要です。さらには、発生した鉱さいを再利用できるような取り組みも求められます。現在の再生率は56%（前年度60%）と、まだまだ伸びしろはありますが、再生率100%を目指して、今後も努力する必要があります。今年度は、大型鑄物工場の循環砂からクロム成分を除去する装置を設置し、稼働を始めました。まだ調整段階ですが、うまくいけば、数年後には大型鑄物工場から発生する砂ダスト廃棄物は、100%がセメント原材料として再生利用できるかもしれません。

●大気に放出したCO₂

3万7千トン（前年度4万3千トン）

おお、これは劇的に下がっているではないですか！前年度は製品生産量と同レベルの排出量だったのに、14%も下がってる！！いやいや、ぬか喜びはいけません。ご承知の通り、虹技のCO₂排出は、そのほとんどが電力由来。「電気を使う⇒CO₂を出す」の図式でしたよね。どこでCO₂を出している

のかというと電力会社の発電所です。その内訳は、原子力発電所の稼働で火力発電量が減り、総じて1kWhあたりのCO₂排出量が14%減っただけでした。電力使用量は前年度とほぼ同じなので、電力会社の努力が数字に表れただけなのです。でも、原子力発電所もテロ対策の施設設置が遅れており、原子力規制委員会は業を煮やして、来年度以降次々と運転停止命令を出すつもりようです。原発頼みのCO₂削減ではもう先がありません。虹技独自でCO₂フリーの電力調達を考えねばならない時が来ています。

●工場から出した排水量

34万4千トン（前年度32万5千トン）

pH値 東工場:6.59~7.80(前年度6.35~7.40)
西工場:6.45~7.76(前年度6.42~7.90)

COD 負荷量（水の有機的な汚れの指数）

平均3.3kg/日（前年度3.1）

SS 負荷量（水の濁り具合を表す指数）

平均6.8kg/日（前年度7.6）

n-Hex（水に混じった油分や農薬などの成分）

最大0.47mg/L（前年度0.59）

工場排水に関しては、製造工程で直接水を使わない為、これらの排水のほとんどは、炉の冷却循環水のブロー水です。ですから、砂の汚れが入ったりはしますが、排水処理施設できちんと汚れを取り除き、pH調整をしてから河川に放流していますので、環境を汚すことはありません。

●窒素酸化物量

848.5Nm³（前年度969.6Nm³）

●硫黄酸化物量

48.7Nm³（前年度95.4Nm³）

これらは、かつての大気汚染物質代表選手ですが、今はほとんど出しておりません。燃料の質が格段に良くなったことに加え、燃焼装置の効率化が進み減少して来ています。キュポラからの発生が一番多いのですが前年度に比べて減ってはいますよ。

環境爺(びびい)のつぶやきコラム



ぶつぶつ

6月28・29日に「G20 大阪サミット」が開催されるのを知っとるな。知らん?! 興味がないとな。う〜っむ!

**※ ポーっと生きてん
じゃね〜よ!! ※**

いやなに、ちょっとはやりを真似してみたかっただけなんじゃ。いやあすっきりした。

そうするとじゃ、そのG20大阪サミットに先駆けて、G20 エネルギー・環境相会合が今月15・16日に軽井沢で開かれたのも知らんのか。オーマイガーじゃ。まずは、G20 から説明せにゃならんようじゃな。



G20 とは世界の主要な19か国と1地域(欧州連合EU)を合わせた言い方じゃ。Gはグループのこと。細かく言うと、先進国7か国+EU+ロシア+新興国11か国の合計20じゃ。どの国が先進国で、どの国が新興国なのかくらいは調べてみておくれ。ええ勉強になるぞ。なんでロシアが別枠なのかも調べてみたらわかるじゃろ。

この国際的な集まりが、国連とは何が違うかというところ、国連は主として安全保障、つまりじゃ、紛争、戦争、民族・人権問題を解決することを第一の目的としとるのに対して、G20 は、世界経済の正常化と健全な発展を目的としておるんじゃ。

このG20 を合わせると世界経済の90%をカバーし、貿易総額は世界の80%にもなる。さらに言うと、G20 の総人口は世界の3分の2になるんじゃ。

その、G20 の首脳が集まった会議がG20 サミットじゃ。

首脳ってのは一番偉い人のこと。日本だと安倍ちゃん、アメリカだとトランプじゃ。ちなみにサミットてのはお山のとっぺんという意味じゃ。1975年に主要6か国で開催されたのが始まりで、段々参加国が増えて、今のG20の枠組みでサミットが開かれるようになったんじゃ。そのきっかけは、かのリーマンショックによる世界金融危機じゃ。さすがにあの時は世界中が真剣に話し合ったんじゃ。G20 になって以来、日本がサミットの議長国となるのは初めての事で、今回はずいぶん力が入るとというわけじゃ。

G20 はサミットだけじゃなく、専門部会として財務大臣会議とか、労働大臣会議とかが、開かれることもあるんじゃ。それが、今回初めて軽井沢で開催されたG20 エネルギー・環境大臣会合じゃ。

ここで何が決まったか知っとるかな。わしゃてっきり、パリ条約の地球温暖化防止についての議論を深めるのかと思ったんじゃがぜんぜん違ってた。廃プラ問題一色じゃった。えらいもんじゃな。廃プラ問題が国際会議での主要議題になるとはのお。

CO₂削減・環境保全のため、
食品売場での
**レジ袋無料配布を
終了いたしました。**

また全売場でのレジ袋ご辞退1回2円引きも終了いたしました。

でもな、レジ袋を有料化するなど、民間ではもう20年も前から進めていたことじゃ。ついに政治が本格的に介入じゃ。遅きに失しているとは言わんが、いまさら感はぬぐえん。もっと世界があっと驚く刺激的な内容はなかったんかいな。

さて、本番のG20 サミットでは、温暖化に言及するかのお、やっぱり無理かのお。。。。。

虹の森なう

6月8日(土)に公園ボランティアグループ「ゆめもりクラブ」と共同で森林整備活動を行いました。今回は20名ほどのメンバーで、手入れ不足になっていた公園南端の古墳跡の整備を行う為、皆が手に得物(カマ・ナタ)を持って勇んで向かったものの、到着してみると意外にも荒れてはおらずちょっと拍子抜け。



これは、きっと古墳の主が、雑木が生えないようにとにらみを利かせたせいでしょうかね。雑木伐採というよりは主に下草刈りがメインで汗をかき、古墳回りがすっきりしました。ゆめもりクラブの皆さんとも楽しく交流しながらの活動は充実したものとなりました。

作業終了後に管理棟へ戻ると、別のボランティアの方々が、本格的な窯で焼きあげたピザをふるまってくれました。これが、うまいんだ。やっぱりピザは炭焼きの本格窯で作ると、ぜんぜん美味しさが違います。宅配ピザとはレベルが違います。ぜいたくな気分を味わいながら作業を終了いたしました。

田植え体験にちびっ子たち +「社長も」大盛り上がり

6月16日(日)に開催された、じゃがいも掘りと田植え体験では、多くの子供たちが、普段できない体験に大いに盛り上がりました。まずはボランティア



の方々が丹精込めて育ててくれたジャガイモの収穫です。土から出てくる大きささまざまなお芋さんに子供たちは大喜び。収穫した芋はみんなニコニコ顔でお持ち帰り。また一部はボランティアの方が作ってくれるお昼のみそ汁の具に。そして、いよいよ田植えです。

毎年のことですが、泥だらけ体験は子供たちにとってちょー刺激的。ワーワーキャーキャーと歓声が響き渡る中での田植えは、見ていてこちらも楽しくなります。今回は、山本社長もお孫さん達を連れて参戦。長靴装着でやる気満々でしたが子守りに忙しく、ご満足いただける田植えはできなかったかも。でも、お孫さんは「気に入ってくれた」とのこと。

次はぜひともアユのつかみ取りに、ご参加くださいね。じいじの株がググっと上がることまちがいなしですよ。



第48回 森林整備の案内と参加者募集

7月は真夏の森林整備となります。シイタケのホダ木を立てかける作業と虹の森の下草刈りを行う予定です。でも、本当は汗をかいた後の温泉がメインと考えています。子供たちは小川での川遊びを楽しんでね。(※ 例年8月は猛暑のため活動をしません。)

日時： 7月13日(土) 10:00~15:00 (9:30公園駐車場集合)

場所： 県立ゆめさきの森公園(虹の森)

申し込み： 参加希望者は、環境管理G 的場まで、またはお近くにいるメンバーまで連絡ください。

的場ケータイ：090-5979-8385

メンバーの方はショートメール等で参加の可否を連絡いただければありがたいです。

初めて参加される方は、保険に加入しますのでお名前、住所、ケータイ番号を連絡ください。

※小雨は決行。天候が荒れそうな場合は前日夕方に、中止のメールを携帯に送信いたします。